

福祉生活病院常任委員会資料

(令和3年12月17日)

[件 名]

- 1 国内における高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱の発生状況と本県の取組について
(緑豊かな自然課)・・・2
- 2 東郷湖羽合臨海公園のドッグランの実施状況について
(緑豊かな自然課)・・・4
- 3 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
(緑豊かな自然課)・・・5

生活環境部

国内における高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱の発生状況と本県の取組について

令和3年12月17日
畜産課
緑豊かな自然課

国内で発生が継続している高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱の発生状況と本県の取組について報告します。

1 高病原性鳥インフルエンザの発生状況

(1) 養鶏場等における発生状況(R3.12.13現在)

	発生地	鶏種	発生日	飼育羽数	防疫措置完了※	血清型
1	秋田県横手市	採卵鶏	R3.11.10	144,539羽	R3.11.20	H5N8
2	鹿児島県出水市	採卵鶏	R3.11.13	38,500羽	R3.11.16	H5N1
3	鹿児島県出水市	採卵鶏	R3.11.15	9,200羽	R3.11.16	H5N8
4	兵庫県姫路市	採卵鶏	R3.11.17	156,459羽	R3.11.22	H5N1
5	熊本県南関町	肉用鶏	R3.12.3	66,225羽	R3.12.5	H5N1
6	千葉県市川市	あひる	R3.12.5	340羽	R3.12.5	H5N1
7	埼玉県美里町	採卵鶏	R3.12.7	15,692羽	R3.12.11	H5N1
8	広島県福山市	採卵鶏	R3.12.7	30,569羽	R3.12.12	H5N1
9	青森県三戸町	肉用種鶏	R3.12.12	7,000羽	作業中	H5
	合計			468,524羽		

※防疫措置完了とは、殺処分、死体の処理、汚染物品の処分、鶏舎の消毒が全て終了した状態

(2) 野鳥等における発生状況(R3.12.13現在)

	発生地	材料	採材日	重点区域指定日	血清型
1	鹿児島県出水市	環境水	R3.11.8	R3.11.11	H5
2	宮崎県宮崎市	野鳥の糞便	R3.11.9	R3.11.16	H5N1
3	鹿児島県出水市	ナベヅル	R3.11.19	R3.11.21	H5N8
4,5	鹿児島県出水市	環境水2検体	R3.11.22	R3.11.29	H5N8
6	鹿児島県出水市	環境水	R3.11.29	R3.12.6	H5N8
7	鳥取県鳥取市 (気高町日光地区)	環境水	R3.12.1	R3.12.8	H5
8	鹿児島県出水市	環境水	R3.12.6	R3.12.13	H5N8

(3) 本県の対応状況

- 秋田県、鹿児島県での発生を受け、11月17日(水)に全庁横断の鳥インフルエンザ対策チームを立ち上げ、サーベイランスや予防対策を強化した。
- 11月末までに全78養鶏農場に消石灰と消毒薬を緊急配布した。
- 家畜保健衛生所により養鶏農場の防鳥ネットや消毒状況などの点検を実施した。
- 鳥取市での高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出により、環境省が採取地点から半径10km圏内を野鳥監視重点区域に指定した。野鳥の監視を野鳥監視重点区域は毎日、その他の地域は隔日に強化している(現在、県独自の監視ステージは最高レベルのステージ3)。
- 中・西部でも糞便等調査を行っており高病原性鳥インフルエンザウイルスは検出されていない。引き続き糞便等調査を実施する。
- 野鳥関係団体、関係機関等と連携を図り、正確な情報提供を実施している。その他愛玩鳥(家きんを除く)飼育者への情報提供を実施している。
- 県内での発生に備え、各総合事務所単位で防疫演習を実施した。また全庁で動画による動員者研修を実施した(東部11/10、中部11/17、西部11/18)。

(4) 今後の予定

- 野鳥の目視確認に加え、野鳥の糞便等検査によるサーベイランスを継続する。
- 年末までに家畜保健衛生所が再度養鶏農場の野生動物対策や消毒状況を点検する。

2 豚熱の発生状況

(1) 養豚場における発生状況 (R3. 4. 1~R3. 12. 13)

	発生地	畜種	発生日	飼育頭数	防疫措置完了※	その他
1	群馬県前橋市	豚	R3. 4. 2	9,970頭	R3. 4. 16	(関連1農場含)
2	三重県津市	豚	R3. 4. 14	10,000頭	R3. 4. 23	
3	栃木県那須塩原市	豚	R3. 4. 17	17,266頭	R3. 5. 17	
4	栃木県那須塩原市	豚	R3. 4. 17	22,096頭	R3. 5. 17	
5	山梨県中央市	豚	R3. 5. 11	2,523頭	R3. 5. 18	
6	神奈川県相模原市	豚	R3. 7. 8	4,328頭	R3. 7. 21	(関連1農場含)
7	山梨県道志市	豚	R3. 8. 6	1,700頭	R3. 8. 11	
8	群馬県桐生市	豚	R3. 8. 7	5,000頭	R3. 8. 26	
9	滋賀県近江八幡市	豚	R3. 10. 6	1,400頭	R3. 10. 10	
10	群馬県前橋市	豚	R3. 10. 19	3,940頭	R3. 11. 1	(関連1農場含)
11	群馬県桐生市	豚	R3. 11. 26	2,632頭	R3. 12. 3	
12	宮城県大河原町	豚	R3. 12. 12	11,700頭	作業中	(関連1農場含)
	合 計			92,555 頭		

※防疫措置完了とは、殺処分、死体の処理、汚染物品の処分、豚舎の消毒が全て終了した状態

(2) 野生いのししの感染状況 (R3. 12. 1 現在)

25都府県で4,195頭の感染を確認した。

宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(3) 本県の対応状況

- 令和3年4月5日から県内飼養豚等全頭へ豚熱ワクチンを一斉接種(約5万頭)し、その後繁殖豚への補強接種や生まれてくる子豚、導入豚へ追加接種を実施している(5/6~11月末まで約6万6千頭)。
- 県職員獣医師に加え民間獣医師(知事認定獣医師)によるワクチン接種を開始(8/16~)し、ワクチン接種体制を強化している。
- 養豚農場の野生いのしし等侵入防止対策の徹底、長靴や衣服の交換、車両消毒及び早期通報の徹底等を家畜保健衛生所が指導した。
- 県内の野生いのししの捕獲及び兵庫県境付近の野生いのししのモニタリングを強化している。
- 県東部の兵庫県境付近に豚熱経口ワクチンを散布した(10月~12月に2回実施、計1万個)。
- 狩猟者、登山者等へ衛生対策についてチラシ配布や県ホームページで注意喚起を実施している。
- 中国地方知事会有害鳥獣対策部会や兵庫・岡山・鳥取3県鳥獣被害対策会議等による連携した対策と情報共有を実施している。

(4) 今後の予定

- 引き続き家畜保健衛生所が養豚農場の野生動物侵入防止対策の点検と指導を実施する。
- 養豚場の豚の豚熱抗体保有状況を分析し、より高い抗体価が得られる適期に豚熱ワクチン接種を行い、発生防止に努める。

東郷湖羽合臨海公園のドッグランの実施状況について

令和3年12月17日
緑豊かな自然課

東郷湖羽合臨海公園の新たな活用に向けた取組として、指定管理者（一般財団法人鳥取県観光事業団・株式会社チュウブ共同企業体）が自主事業として実施しているドッグランの状況を報告する。

なお、当初予定の試行期間中に実施した利用者アンケートに継続を希望する多くの御意見が寄せられたことから、試行期間を延長している。

1 試行概要

- (1) 期 間 令和3年8月23日(月)～試行継続中
- (2) 場 所 浅津（あそづ）公園桜広場（湯梨浜町大字光吉）の1区画（35m×35m）
- (3) 利用料金 無料（登録制：1年以内のワクチン接種（狂犬病及び混合ワクチン）証明書の確認）

2 ドッグランの利用者実績（8月23日～9月30日）

- (1) 登録者数
198人（湯梨浜町48人、倉吉市60人、鳥取市62人、その他28人）
- (2) 利用者数（延べ人数）
499人（湯梨浜町158人、倉吉市121人、鳥取市148人、その他72人）
※土日・祝日 346人／平日 153人
- (3) リピート率（登録後2回以上の利用） 48%

3 アンケート結果（8月23日～9月30日）

- (1) アンケート回収率 55%
- (2) 概要
[次回利用について] ぜひ来たい58%、機会があれば来たい42%、来たくない0%
[満足度] 満足61%、普通25%、やや不満14%
[主な意見]

（利用者の声）

- ・近隣にドッグランができて嬉しい。ぜひ継続してほしい。
- ・見晴らしの良い場所で犬共々リフレッシュできた。
- ・ほかの犬と触れ合えてよかった。
- ・ベンチ、水道の水飲み場が欲しい。

（地元関係者等の意見）

- ・景観の良い場所にあるドッグランだと広まれば周辺地域の活性化につながる。
- ・湯梨浜町は山陰柴犬の発祥地なので、イベントができればよい。
- ・9月からカフェの利用者が増えた。ぜひ継続してほしい。
- ・羽合温泉ではペットと宿泊できる宿もある。これをきっかけにペットツーリズムを進めていけたらよい。



4 効果等

- ・ドッグランができたことにより、初めて訪れた方もあるなど東郷湖羽合臨海公園の認知度が上がった。
- ・公園が賑わい、犬と一緒に食事ができる近隣のカフェの利用者が急増するなど、相乗効果が得られた。
- ・犬の散歩は日常行為であるため、ドッグランを繰り返し利用される傾向があった。

5 継続実施に向けた対応

アンケート等を踏まえ、指定管理者は、駐車場案内看板の設置や水道の修繕等の改善を行いながらドッグランの試行を継続しており、今後は、地域と連携した公園の賑わいづくりや地域の活性化につながる取組について検討することとしている。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和3年12月17日
生活環境部

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
緑豊かな自然課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	大山博労座駐車場整備工事	西伯郡 大山町 大山	株式会社特研工業 代表取締役 谷口 博	(当初契約額) 159,500,000円 (第1回変更契約額) 154,819,500円 (変更額) △4,680,500円	令和3年3月26日 ～令和3年12月10日 (変更なし)	(当初契約年月日) 令和3年3月25日 (第1回変更契約年月日) 令和3年11月24日	・他工事からの流 用土が増加し購入 土が減少したこと 等による工事費の 減。
緑豊かな自然課 (西部総合事務所 環境建築局)	大山登山道線木道移設外工事	西伯郡 大山町 大山	船越建設株式会社 代表取締役 船越 秀志	(当初契約額) 148,500,000円 (第1回変更契約額) 166,807,300円 (変更額) 18,307,300円	令和3年3月12日 ～令和3年12月15日 (変更なし)	(当初契約年月日) 令和3年3月11日 (第1回変更契約年月日) 令和3年12月10日	・ダイゼンキヤラボ クへの影響を最小 限とするため、木 道基礎の配置等を 変更したことによ る材料費の増。 ・登山道側面部に 土砂流出防止の ための土留工を追 加したこと等によ る工事費の増。